

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M212U203		老年看護方法論 (Gerontological Nursing Practice I)					老年看護学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	1	2	医学部看護学科	後	火3,火4	日本語			複数(共同)						
担当 教員	氏名 三重野英子・小野光美・阿部世史美														
	E-mail eikomi@ 内線 5093														
授業 の 概 要	高齢者に生じやすい健康問題について、それらの定義、発生要因・機序、看護の原則を理解することによって、健康問題を抱える高齢者に個別的看護を提供するためのアセスメント能力を養う。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 高齢者の健康問題の特徴と看護アセスメントの枠組みを説明する。															
目標2 高齢者に生じやすい健康問題について、それらの定義、発生要因・機序および看護の原則を説明する。															
目標3															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									4	4					2
授業の内容															
1【総論】高齢者の健康問題の特徴と看護アセスメント															
2【各論1】生理的状態の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 1)脱水症・熱中症2)皮膚の変調															
3【各論2】活動性の維持・拡大に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 1)活動性の低下															
4【各論2】活動性の維持・拡大に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 2)転倒															
5【各論3】食生活・栄養状態の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 1)栄養状態の変調															
6【各論3】食生活・栄養状態の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 2)摂食嚥下障害															
7【各論4】排泄の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 1)排尿障害															
8【各論4】排泄の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 2)排便障害															
9【各論5】睡眠および意識・感情の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 1)睡眠障害															
10【各論5】睡眠および意識・感情の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 2)せん妄3)抑うつ															
11【各論6】認知症高齢者の潜在能力に焦点をあてたアセスメントと看護の原則															
12【各論6】認知症高齢者の潜在能力に焦点をあてたアセスメントと看護の原則															
13【各論6】認知症高齢者の潜在能力に焦点をあてたアセスメントと看護の原則															
14【各論6】認知症高齢者の潜在能力に焦点をあてたアセスメントと看護の原則															
15【応用編】高齢者事例の検討															
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認		A:小テスト、学習記録による振り返り			工 夫 そ の 他 の	・講義、小テスト、事例検討を組み合わせた授業を行う。 ・公開授業(一部公開)の多世代の受講者と一緒に意見交換ができる機会を設ける。								
	B:意見の表現・交換		B:発問、グループ検討												
	C:応用志向		C:事例検討・発表												
	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		教科書等を用い、次回の学修内容について予習する。(11h)												
	事後学修		授業資料、教科書、小テストを用い、授業で学修した内容を復習する。(11.5h)												
	想定時間合計		23												
教科書		北川公子著者代表(2025):系統看護学講座 専門分野 老年看護学(第10版)、医学書院.ISBN978-4-260-05689-2													
参考書		水谷信子他監修、三重野英子他編集(2025):最新老年看護学2025年版(第4版)、日本看護協会出版会.ISBN978-4-8180-2785-5													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		期末試験	90%									
	学修記録の内容	10%										
注意事項	毎回、学修記録の提出（Moodleのアンケート）をもって出席状況を確認する。											
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・適時、授業資料や教材をMoodleにアップロードする（アップ時、メールで通知）。 ・本科目は、大分大学が大学開放事業として行う公開授業（一部公開）とし、授業に関心のある一般受講者を受け入れる。 											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務経験	三重野（看護師）、小野・阿部（看護師、保健師）											
実務経験を いかした教 育内容	・看護師としての活動経験をいかし、高齢者事例を教材に講義を行う。											